

## 平成 28 年度 第 9 回西区自治協議会会議録

日時：平成28年12月22日(木)10：30～12:00

会場：西区役所健康センター棟1階大会議室

### < 1 開会 >

### < 2 議事 (1) 部会の状況報告 (通常部会・特別部会) >

(岩協会長)

それでは議事に入りたいと思います。第1部会の状況報告です。今回の部会では、来年度の自治協提案事業についてご審議いただいておりますので、その内容も含め、概要を各部長より簡潔に報告していただきたいと思います。それでは第1部会の方からお願いいたします。

(笠原第1部会長)

では第1部会の概要をお知らせいたします。所管分野は防犯・防災・自然環境・住環境等でございます。会議は12月9日金曜日、午後3時から4時まで。出席者はご覧のとおりとなっております。主な議事は、「1 平成29年度自治協議会提案授業について」。平成27年度から取り組んでいる「小・中学校を対象とした防災公開事業」は、教育委員会学校支援課の学校・地域連携事業においても同様の取組みが実施され、定着してきたことから、来年度以降はより幅広い年齢層に参加いただけるよう講演会形式とし、下記のとおり提案することとしました。具体的なテーマ及び講師については、次回部会までに各委員、事務局において候補を検討することとしました。事業名は「防犯と防災に関する講演会」、テーマは幅広い年齢層が参加したいと思えるテーマ設定、講師は実施テーマに合わせて決定、対象は区民といたします。委員から出された意見等は下記のとおりです。講演会の講師について、西区犯罪発生状況を踏まえ、どのようにすれば犯罪を防止できるか、話すことができることがよい。今年度青山小学校での防災公開授業を依頼した危機管理教育研究所の国崎信江氏は、防災だけでなく、防犯をテーマとした講演の実績もある。

「2 その他」、講演会のテーマ決定の参考とするため、総務課より西区の防犯発生状況について説明があり、特殊詐欺、受託への侵入盗が地区の中で最も多く発生していることを確認しました。

次回第10回の開催日程について、平成29年1月18日水曜日、午後3時から。場所は西区役所3階303会議室。議題は「防災・防犯に関する公開授業」について。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。委員の皆さん方、何か質疑、意見、質問等がございませんで

しょうか。なければ、第2部会お願いいたします。

(郷第2部会長)

第2部会は平成28年12月6日火曜日、午後3時から4時半まで、西区役所健康センター棟1階105会議室にて部会を行いました。出席者は書いてあるとおりです。主な議事、「平成29年度自治協議会提案事業について」話し合いを行いました。

まず一つ目です。スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業につきまして、前回の会議で実施提案ということを決めたのですが、もう少し普及啓発というところで、皆さんと共通認識を持ち合うような話し合いを行いました。私たちが提案するスポーツ鬼ごっこの普及啓発事業につきましては、「スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業」という事業名で地区別大会及びイベント企画力などのスキルアップ研修会を行います。1年目、スポーツ鬼ごっこについては、底辺層を拡大ということで、指導者を増やすような取り組みを行いました。そして今年度は子どもたちに向けての体験会を行いまして、より多くの子どもたちにスポーツ鬼ごっこの楽しさを知ってもらうということをやりましたので、来年度3年目は、より一層各地域でスポーツ鬼ごっこの大会が行われるような企画をする力とか、どうやってやっていくかというふうなスキルアップを目指した研修会と、せっかく各地域、西区で広がりつつあるスポーツ鬼ごっこなので、各母体ごとの対抗戦をやってみようという形になりました。やり方としましては、27年度に設立された活動団体「Oni base niigata」との協働ということで行います。日程につきましては、29年の11月に行います。西総合スポーツセンターの大体育館を使う予定です。

委員から出された意見は下記のとおりです。地域へ対抗戦の参加呼びかけを行うにあたり、各学校のふれあいスクールやコミュニティ協議会など、対象と依頼方法を検討していく必要がある。これは急に言われても、なかなか対抗戦に向けてのチームづくり等はできないので、日程が決まり次第、年度変わった初めのほうに、それぞれのふれあいスクールやコミュニティ協議会に概要を案内をして、準備を進めてもらうようなことをしていきたいと思っております。また協働し、無償で協力いただく「Oni base niigata」の活動スケジュールや講師都合を調整し、早めに地域にお知らせしていくという意見がございました。

またもう一つ、地域課題解決のための講演会の実施についてです。来年度も講演会を実施するということが先回の会議において決定しましたが、もう少し詳しく皆さんで検討を行いました。開催時期は9月中旬とし、今年度が西新潟市民会館を会場としましたので、来年度は黒崎市民会館を候補として調整を行っていくこととしました。認知症予防や健康づくり関連の書籍について、坂井輪図書館より資料提供を受けながら、具体的なテーマ、講師の候補について話し合いましたが、ピンポイントの本当の決定は、次回の会議まで、皆さんがその書籍やまたテレビや新聞等でそれぞれ情報を集めて持ち寄るということで、今回は終わりました。事業名としましては「幸齢いきいき講演会」。高齢者向けの講演会なのですが、今の西区の課題として、少子高齢化の進展が大きな課題となっているわけです。

健康寿命の伸ばし方とか高齢者の生きがいをづくりを促進し、高齢者のみではなく、西区に暮らす皆さんが活力あるまちづくりにつながるような講演会にしていきたいと思っております。だからやはりなかなか講師決定に時間がかかるということで、第2部会の皆さんは今月いろいろ調べて持ち寄るといことになりました。だから来月講師はテーマに沿って決定していくと。日程は9月中旬、会場は黒崎市民会館のホールを予定しております。

委員から出されたその他の意見は下記のとおりです。実践的なハウツーものではなく、健康寿命の延伸や生きがいをづくりなど、来場者が明るくなるような内容で、また日ごろお聞きできないような講師をお呼びする機会を設定していきたい。またアンケートにもありましたが、本講演会は多くの方より満足と期待をいただいておりますので、やはりその点で講師設定等もみんなで考えていきたい。また一般の区民の方のみならず、地域への実践を期待して、コミュニティ協議会などへの招待枠を検討してみてもどうか。自治協提案事業なので、ここで1回で講演会でよかったなということで終わるのではなく、ここで聞いたことが、各コミ協、または自治会等で生かされていくような、そのための提案事業ということを考えますと、参加者の地域がわりと偏ってしまっているというアンケート結果がありますので、西区15コミ協から招待枠という形で何人か出ていただければ、必ず各コミ協の方が聞いていて、それを持ち帰って自分たちのコミ協での活動につながるのではないかという意見でした。

「2 その他」です。西区自治協議会で開催を予定する地域包括ケアシステムに関する自主研修会について、充実した内容となるよう、具体的テーマや事前の質問など、アンケートの依頼が事務局よりありました。

「3 次回の開催日程について」、今回は平成29年1月13日金曜日午後3時より、西区役所3階303会議室にて行います。議題は平成29年度の講演会の内容についてです。あとはその他です。以上で報告を終わります。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただ今の部会長の報告について、皆さん方、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。三富委員、お願いします。

(三富委員)

公募委員の三富でございます。私はスポット参加したのですが、(2)の事業名のところに「幸齢いきいき講演会」となっているのですが、コウレイのコウを幸せの「幸」にされたというのは、少し説明していただいたほうが皆さんよく分かるのではないかなと。新しい事業になりますので、お願いします。

(岩協会長)

部会長、お願いします。

(郷第2部会長)

この事業名につきましては仮なので、部会全体で確認というところではなく、やはりみんながいきいきと幸せに生きていくということと、高齢者の高いという「高」とを掛けあわせて、少し文字で、毎回毎回「高齢者」、高い年齢の方対象というよりも、みんなが幸せな年齢でいきいきと暮らしていきたいなということの思いが入っている言葉であります。

(岩協会長)

ということでございます。ありがとうございます。ほかに何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。なければ第3部会お願いいたします。

(塩川第3部会長)

第3部会、申し上げます。開催日時は28年12月12日月曜日、午後3時から5時まで。会場は区役所3階303号室でございます。出席者は記載のとおりです。主な議事といたしまして「1 平成29年度自治協議会提案事業について」。来年度に第3部会として実施する事業について検討を行い、協議の結果、下記の2案について提案することといたしました。

第1案、事業名「西区の特産物・観光地カレンダー事業」。内容は西区の特産物、観光地等の写真、キャラクターを用いたカレンダーを作成し、区内市公共施設やイベント等で配布することで、特産物の消費や交流人口の拡大につなげる。部数は昨年同様1万3,000部でございます。掲載写真は西区の特産物、観光地等をより効果的にPRするために、月ごとに「公募(テーマを設定)」か「新潟観光コンベンション協会等の観光写真の利用」のいずれかの方法を選択し、収集するものといたします。委員から出された他の意見は下記のとおりです。カレンダーが昨年度に比べ浸透してきているので、より充実した内容となるように努めていくことが必要である。掲載写真の公募という形で、カレンダー制作に市民が参加できるという点は大事にしていきたいと思う。

第2案、事業名「商店街等活性化研究実践事業」。内容は、内野地域を対象として、平成28年度に大学と取り組んだ研究結果を中心に、大学や地域と協働して実践研究を進めていくことで、商店街等の活性化につなげる。手法でございます。「うちのDEこすぷれ」。コスプレのイベント開催を通し、若者の誘客、飲食店等の利用につなげ、賑わいを創出するため、学生を中心とした大学研究チームと協働し、会場の借り上げやPRチラシ作成などの支援を行う。

「Café 四ツ角」、空き店舗を地域の情報発信、交流の場として活用することにより、商店街等への人の流れや交流の促進を目指して、具体的な運営主体や実施方法などについて継続して研究を行う。なお、今年度の大学提案による研究成果を地域と共有するため、西区公民館等で主催する「うちの発掘ぷろじえくと成果発表会」において、広く発信することとしました。うちのぷろじえくとの研究発表会は、29年1月21日、午後1時30分から午

後5時までです。会場はうちのまちづくりセンターでございます。

委員から出されたその他の意見等は下記のとおりでございます。「うちのDEこすぶれ」については、効果的な広報をするため、チラシやポスターを専門業者に委託することや、新潟大学芸術環境創造課程の学生に依頼することが考えられるのではないかと。「Café 四ツ角」は継続して運営を行える主体の確保と運営方法の検討が必要である。「Café 四ツ角」の実施にあたっては空き店舗の借り上げではなく、内野まちづくりセンターを情報発信、交流の拠点として活用することも考えられるのではないかと。この点におきましては、新潟西商工会との事務局長の話だと、なかなか事業者がいないということで、難しい面がありますので、この点ではまちづくりセンターを事業発信、交流の拠点としていくほうが良いのではないかとという意見でございます。

前回の部会において、来年度の事業として提案することを検討していた産業活性化講演会については対象が限られ、ニーズ、目的の具体化も必要なことから、平成30年度以降に取り組む事業として提案すべきか、継続して審議することといたしました。なかなかこれは講師も難しい面がありますので、これは30年度に繰り延べいたしました。

「2 次回の開催日程」です。日時は29年1月12日木曜日、午後2時30分より西区役所3階303号会議室。議題は西区の特産物・観光地カレンダー事業、「商店街等活性化研究・実践事業」、ほかでございます。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの第3部会の報告について、何かご質問、ご意見等がございませんでしょうか。ありませんか。

昨日あるところで、いもジェンヌの商標というのですか。商工課長、いいの出ていましたね。いもジェンヌの何て言うのですか。

(小栗農政商工課長)

いもジェンヌのパフレットですか。昨日、この前の区だよりも少し出させていただきましたが、昨年度大学生なんかの意見を取り入れながら、お店で考案したスイーツがいくつかありますので、それらを含めて、市内の12~13店舗のものを掲載したスイーツガイドを作成いたしました。ホームページからもダウンロードできますので、ぜひそちらをご覧になっていただいて、いもジェンヌを使ったスイーツを召し上がっていただくとありがたいなと思っています。

(岩協会長)

ありがとうございました。ということで、いろいろな機関でいろいろな形で創意工夫して、すいかとかいもジェンヌとかをPR活動しているということで、非常に私は印象を受けました。ありがとうございました。では広瀬委員、お願いします。

(広瀬委員)

公募委員の広瀬です。「うちのDEこすぷれ」というので、なかなか素敵なネーミングで書いてあるのですが、具体的な中身はこれからだと思うのですがけれども、少し今の時点で考えていらっしゃる中身とかありますか。

(岩協会長)

ではお願いいたします。

(塩川第3部会長)

誠に申し訳ないのですが、私はまだコスプレを見たことがないのです。残念ながら忙しくて。大学のほうでやっていただいて、結果を聞きますと結構評判がよくて。要はテレビに出るコスプレございますね。若い者がいろいろと着飾って。ああいう形でやっているみたいです。残念ながら私は見たことがないのではっきりと言えないのですが、見た方のご意見ではすごくよかったです。これも継続していきたいという話で、若い学生さんとか子どもさんとかが喜んでおられるみたいです。特に女の子がすごく喜んで、もしできれば自分も参加したいという意見もあったみたいな話をお聞きしました。これからも継続してやっていきたいと思います。

(岩協会長)

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

(坂井委員)

フリー企画で1回やっているのです。やったら、市外の人も来たのです。若い人たちがコスプレしたりとか。

(岩協会長)

新潟テルサでも通年、毎年1回と、秋葉区でも結構ハロウィンと一緒にやっているような情報は仕入れています。結構みんなうけていると。まちづくりの活性化の一つになる、一役を担うのではないかということで提案がありましたので、よろしくお願いいたします。ほかに何かご質問。

(渡邊正友委員)

渡邊です。これは特に提案とかではないのですが、昨日NHKのラジオ番組で、山田邦子さんが平成27年度に相当数西区に通ったらしいのです。芸能活動の合間を見て。収穫の時期だけは来られなかったそうなのですが。全国放送で西区、西区、西区、ととてもいいところですよ、西区、西区、西区と昨日いっぱい言っていました。山田さんが持っている番組の中でも西区、西区、西区と言っていました。それですいかは全国的に西区は有名

ですねということをしていました。来年もやるのかと聞かれていて、来年もやりますと。平成 29 年度も私は行きますということをしてくださいました。それがどういうふうにつながっていくか分かりませんが、大変西区を P R していただいている状況ということをお話したかったわけです。

(岩協会長)

ありがとうございます。ということで西区からいろいろな発信が出ておりますので、皆さま方興味を持って一つご支援をいただければなと思っております。ほかに何かご質問ご意見。なければ P T 1 の報告をお願いいたします。

(大谷一男プロジェクトチーム 1 部会長)

それでは広報紙の編集・発行を担当しておりますプロジェクトチーム 1 の会議概要を報告をいたします。12 月 5 日に第 9 回の会議を行いました。出席者は記載のとおりでございます。会議ではまず広報紙に寄せられたご意見ということで事務局から報告がございました。概要にも記載しておりますが、秋葉区にお住まいの方が西区の友人宅で西区自治協広報紙を目にして、大変良い広報紙だという感想を寄せられたそうございまして、特に第 15 号の知ったクなっく街のタネの「農園？遊園？公園？」の記事が大変良かったという印象を事務局へ寄せられて、是非ほかの号も読んでみたいということの要請だったそうです。これに対して、ほかの区の読者の声もありがたく受け止めて、事務局のほうからお届けをしたという報告がございました。この話を聞きまして、私ども編集担当メンバー全員が、このような励ましに満足感を味わったということでございます。

それから引き続き、1 月 1 日発行の第 20 号の初校の確認と修正を行いました。別途皆さま方のところに配付してございますので後ほどご覧いただきたいと思っております。それから 3 月 31 日発行予定の第 21 号の企画についても意見交換を行い、企画案の検討を行いました。1 月の部会で最終決定及び面担当を決める予定でございます。

次回は 1 月 13 日午後 1 時 30 分から第 10 回の会議を行います。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの P T 1 からの報告でございます。何か皆さま方ご質問、ご意見等がございませんでしょうか。部会長から報告のとおり、ほかの区からも、ああ素晴らしいと、こういうご意見が寄せられたということをお話いたしましたけれども、これからもほかの区からもお褒めの言葉をいただけるような紙面づくりに努力をお願いしたいと思っております。続いて、P T 2 の永吉部会長、お願いいたします。

(永吉プロジェクトチーム 2 部会長)

それではプロジェクトチーム 2 の会議概要について説明させていただきます。所轄分野

は、西区アートフェスティバルの企画・実施に関する事項です。出席者は概要のとおりとなります。主な議事としましては、平成 29 年度自治協議会提案事業へむけて事務局より参考として、昨年度の決算及びアンケート結果について報告がありました。また、前回の部会において決定した第 5 回西区アートフェスティバル開催事業について、内容の詳細を詰めました。委員から出された意見は記載のとおりとなります。音楽・芸能部門に関しては、新しい分野の種類を増やしてはどうかという意見がありまして、例としてはジャズ、創作ダンス、子どもバレエなどが挙げられました。今年から特別ゲストということでプロ枠を設けたのですが、来年度も引き続き、午前午後各 1 組ずつの 2 組で構成したらよいのではないかとことで意見が出されております。ゲストのジャンルに関してはさまざまな意見がありまして、例えばピアニスト、尺八、三味線、太鼓、和洋折衷のセッションなどもいいのではないかとことで、今後吟味しながら検討を進めていくということで話を進めております。また、今年から取り入れましたアート展示部門に関しては、新潟大学美術科の学生によるアート作品の展示を継続してやったほうがいいのではないかとのご意見、あとは来年度の新規の目玉として、小学生の夏休みの自由工作。各学校で文化祭などで展示はしているのですけれども、県で取りまとめて代表 1 校 1 作品というものは個別の企画であるにしろ、あまりにもほかの地域の還元率が低いのではないかとことで、ほかで使われた物を持ってくるのではなくて、今回アートフェスティバルとして各学校のほうから提出していただいた代表作品を展示するという形で考えております。

運営については、今年度はチラシの数の見直しをしましたが、引き続き、中身は拡充しつつ経費削減に取り組みながら進めていくことで方針をまとめております。

次の開催は、2 月 10 日午後 3 時から、議題は P T 2 の成果と課題について検討していきたいと思っております。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。P T 2 の報告について何かご質問、ご意見等がございませんでしょうか。いろいろと企画内容が年々変わって、見に来られたお客さまに感動を与えているということでございます。

ちょっと話がそれますが、越乃リュウさんも西区とか全区で評判がいいと見えて、この前、内野の松のやで何か依頼があって歌を歌ったということを聞いておりますので、いろいろなところで越乃リュウさんが活躍していると思います。これも西区の皆さん方と区長の応援があったからこそ、西区の越乃という形になったのではないかなと思いますし、こういうメディアの必要性をつくづく感じましたので、これからもよろしくお願ひしたいと思っております。

それでは続いて推薦会議の報告を、座長に就任していただきました大谷勇委員からお願いいたします。



(大谷勇推薦会議座長)

座長の大谷です。推薦会議は12月1日、12月13日の2回開催しております。12月1日は西区役所の3階303会議室で実施しました。委員構成は10名になっておりまして、推薦会議の運営要綱によりまして、1号委員から6名、2号・3号・4号・5号から各1名ということで、トータルで10名の委員で構成されております。10月1日の出席者は7名でした。

一番目、委員推薦会議の構成、役割等ではありますが、今お話ししましたような感じでやっております。座長につきましては、皆さんの互選によりまして、私が座長になりました。スケジュールにつきましては、ここにはついてありませんが、今後のスケジュールについて記されたペーパーで検討いたしました。それから自治協議会のさらなる活性化に向けてということで、改正に係る課題について、資料をもとに意見交換を行いました。資料につきましては、各自治協の委員構成の資料ということで、それらも含めて検討をしたということでもあります。

それから多様化する地域課題に対応できる専門的人材の参画が必要ということ。いわゆる社会といますか、時代の要請といますか、そういう中で、いろいろな専門的人材の参画が必要ではないかというような意見もございました。ただ、委員総数が限られているということもございまして、協議会の委員については、運営指針によりまして、西区では36名ということで上限が決まっている。その中で各委員の役割と構成について、一つずつ検討を行ったということでもあります。

課題の整理としまして、基本的な方向性について記載のとおり検討したということでもあります。委員全体の総数については上限の36名とする。それから女性委員数の増については、女性比率40パーセントを達成するように努める。現在は38.9パーセントであります。平成32年に向けた行動計画では45パーセントということになっております。従いまして、40パーセントは達成したほうがいいということでもあります。それから1号委員については、いろいろ議論もあったわけではありますが、1コミ協1人による計15名とするという方向でどうだろうと。それから2号、3号、5号につきましては、現行の団体で本人の意向を踏まえた上で就任をお願いするということでもあります。

それから改正指針に基づきまして、年齢制限は20歳以上から18歳以上になったということ。それから公募委員については、10パーセント以上を確保しなさいというものだったのが、必ず選任をしなさいという程度に改正されている。それからそういうことも含めて、1号から5号委員の資格の例示が、それぞれ改正されている。例示でありますので改正というよりも、こういうものがこういう号数に入るのでよというものが整理されたということもあります。そういう中で、現在5号委員として位置づけされている社会福祉協議会が2号委員に回るというようなこともなされております。また新たなものとしては、支え合いの仕組みづくり会議とか、あるいは2号委員としてそういうもの。それから3号委員としては地域教育コーディネーターなどから参画してもらったほうがいいのではないかと

いう例示がされているという状況であります。

そういう中で、いろいろな社会の要請に基づく中で、どういうふうに関後、検討していったらいいのかというようなこともあります。中でも生活支援コーディネーターとか学校と地域の連携の教育コーディネーターのほかにいわゆる健康寿命の延伸とか、防災の観点から市のスポーツ推進委員連盟、あるいは防火関係部門の強化というものも出されたものでございます。これらの状況を踏まえながら、公募委員の数について、今後検討していくということでありました。それから委員から出された主な意見としては、1号委員はもう少し増やしてもいいのではないかなというような意見や、まあそうは言うけども上限が決まっている。あるいはそのほかにいろいろなファクターのところから1号委員だけでなく、2号委員、3号委員のところからも出ている、というようないろいろなご意見もいただいております。その中で特に出席率の低さも見られるので、できるだけ多く出席してもらえらる団体等に依頼してはどうか。こういうようなことがございました。

5番目として公募委員の募集についてとありますが、協議の結果、記載のとおり募集してはどうかということで、数は次回決めるということにして、ある程度のテーマ、それから実数等について記載のとおり、決めたということであります。

続きまして第2回の会議になりますが、第1回の検討を頭に入れながら、議事を進めてまいりました。第2回につきましては、12月13日、9名の参加でございました。委員の全体構成につきましては、今ほどお話ししましたように委員総数が定められている中で、各委員のバランスを全体構成として、前回の確認、今回の検討をするというようなことで別紙のとおり決定しました。別紙というのは推薦会議資料1です。その中では、1号委員は15人、2号は12人、3号は4名、4号は3人、5号は2人というような考え方の整理をさせてもらっております。審議のポイントであります、委員全体としては上限の36名とするということでございまして、女性の数については、40パーセントを達成する。それから1号委員については15名とする。それから2号、3号、5号については一応現行の団体及び本人の意向を踏まえた上で継続して就任していただくことを基本とする。それから改正指針に基づいて、区社協など各号間の資格の調整、整理を行うというようなことございます。

それから新たな公共団体として、学識経験者の参画については、西区支え合いのしくみづくり会議から就任をしていただく。それから地域教育コーディネーターの就任を依頼する。市スポーツ推進連盟の西区評議員からスポーツ推進委員の就任を依頼する。あるいはその他、防災に関する者の就任を依頼するということで、第1回会議の分についての①から④については、大体そういう確認をした中で、新たな公共団体、学識経験者の参画につきましましては⑤に掲げた部分について、いわゆる新たな要素として考えるというようなことあります。支え合いのしくみづくり会議、地域教育コーディネーターの就任、それからスポーツ推進関係というのは、いわゆる健康寿命をいかに維持していくかというようなことで、スポーツ関係が重要ではないか。それから防災関係は、特にいろいろな地域での災

害の関係もありますので、第1部会ではやはり必要ではないかというようなこともありまして、これらを取り入れるということにします。そういう中で⑥、4号委員についてはそういうものをいわゆる斟酌した結果、定数3名とすることにいたしました。その他、委員の主な意見としては下記のとおりであります。女性委員の登用、子育て世代の登用と同様に、多様な区民の意見が反映されるよう、幅広い年代から参画を取り組んでいく必要があるのではないかと、大変貴重な意見でございます。

それから公募委員の募集につきましては、委員の公募に関する要領の改正をしております。これは推薦会議資料2に記載されておりますので、それを見ていただきたいと思えます。この要領は、「新潟市区自治協議会条例に基づき、西区に設置する、西区自治協議会の委員の公募について、必要な事項を定める」ということになっております。その中で公募委員の数は3人とする。そして第3条では、行政区域内に住所を有する満18歳以上。これは20歳から18歳に。あと補足としましては、推薦会議が12月13日に実施されて、決定したということですので、13日より施行するという整理がなされております。

広報につきましては1月1日号の自治協広報紙及び西区だより等に広く周知となつて、1月4日から2月3日までの1カ月間の募集。応募様式及び審査基準につきましては、ホームページ等でも見られるようになります。それから応募人数が不足であったり、あるいは失格者が出たりというようなことがあった場合には、再募集という考え方の整理ができております。

その他としましては、次回以降の推薦会議ですが、1月17日、それから2月14日、2回を予定しております。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。公募要領等については推薦会議の議決事項ということで、説明のとおりまとめさせていただきました。ただいまの報告について、ご意見、ご質問がございませんでしょうか。坂井委員。

(坂井委員)

決まったことなので変わらないと思えますけれども、私の意見を述べます。私は2回ほど前の本会で、西区は公募委員の枠5つを守ってほしいとお願いしたいと申し上げたのですが、結果そうなりません。大変残念に思っております。当然総枠36名は決まっているわけですから、2号委員とか3号委員を増やせば、その分どこかが減るわけで、そこが公募委員が減ることになりました。ちょっと前の会議で、公募委員と皆さまとの違いがどこにあるかということ。一つは組織の代表ということで背負っていないので、わりと自由な発言ができると申し上げましたが、もう一つ一番大事なことは、自ら手を挙げて参画するという立場の人間なのです。どうしても団体代表とかになると、区役所なんかの視野に入るところの人しか出ないのです。公募委員は手を挙げますから、区役所の視野

に入らない方も出てくる場合があるのです。私自身のことをいいますと、私は当初この都市計画マスタープランの策定委員をやっておりましたときに、自治協の前の準備の会第1回目の、1年目です。このことについての研究をしまして、いろいろ自治協のあり方について少し勉強しております。西区について、その後全部ではありませんが、自治協どんなふうに行われているか。一番大きなのが区役所をここに持つてくるというようなことを、どっちにするかということがあったりして、ここに決まったわけですが、それで自治協の機能が大きく役割を果たしたと思っております。そういう意味でいうと、私自身なんかは区役所の視野に入っていない人間だと思います。そういうのが出てきて、あいつは少ししゃべりすぎてうるさいから、今度は5人から3人になってあいつを落とせやということなのかどうか分かりませんが、広瀬さんは4年やりましたので、抜けると、これはもう。あとの4人は残るわけです。手を挙げるかどうか分かりませんが、この4人が手を挙げると、そのうちの誰か1人が落ちる。あるいはまた新し人が手を挙げてくると、その人が落ちる。そういう意味でいうと、公募委員というのは4人いるけど3人にしてもいいやというような役割しかなかったのか、どうなのかというのが少し残念なことであります。そういう意味で、残念であります。ただこの1年、役所の審議会なんかの大事なことというのは、視野に入らない人を抱え込んで研究して、新しいものから発展させていくという懐の深さが大事なのです。区役所の視野しか入らない人たちがやっておると、形式だけになっていって、はい、やってみたになるけれども、なかなかしぼんでいくというのはよくある例であります。

今自治協の問題でいうと、浜松のことはこの前少し申し上げましたけれども、自治協自身が形骸化されていって、やめてしまえ、そんなものは、という動きになっているのです。私、新潟市と併せて本当に全国の学会研究会という新潟県の上越市です。あそこは全部公募公選なのです。全員が手を挙げて、オーバーすれば選挙するという、最近選挙がなくなったみたいですが、そういう意味でいうと、そういう懐の深さや何かを持って協議会を持つかということが、政策や施策の発展の上で大事なことで、そういう意味でいうと、少し残念な結果ではありました。決まったことなので仕方ありませんけれども、私の意見です。

(岩協会長)

ありがとうございました。坂井委員のご意見等々について、推薦会議でいろいろな意見で議決したと言われておりますので、推薦会議のメンバーがイコール行政側と、そういう誤解はなさないように。私どもの決めた推薦会議でございますから、推薦会議の議決ということは非常に重要なことだと思います。ほかに何かご意見、ご質問。三富委員、お願いします。

(三富委員)

すみません。推薦会議の全体構成について、予定となっておりますが、一つ、西区の支え合いしくみづくり会議、この団体はどういう団体なのか、誰が同意しているのかということ、分かれば教えていただきたいのと、3号委員の、ここに地域教育コーディネーターが、2号委員の坂井輪中学校区青年育成協議会がここに移るということになりまして、防災関係者、この人からこの団体から1人選ばれるということは、これは5名になるのではないのでしょうか。ということは、上は12名で変わらないのですけれども、社会福祉協議会が上に上がるわけですね。新潟市スポーツ推進連盟会議が、これは2名でいいと思うのですけれども、3号委員、これでいいのでしょうか。私の理解不足でしょうか。

(岩協会長)

では推薦会議座長の三富委員、お願いいたします。

(大谷勇推薦会議座長)

お答えいたします。西区支え合いのしくみづくり会議におきましては、地域包括ケアの検討をします。そういう中で地域の支え合いをしていこうというようなものであります。少し概要などをお話しますと、地域における生活支援、介護予防サービスの提供体制の充実を図り、地域の支え合い活動を支援するため、区単位に設置される多様な主体から構成される協議体でありまして、生活支援コーディネーターを配置するというようなことになっておりまして、生活支援コーディネーターは協議会から選出され、不足するサービスの創出や担い手の育成支援を行うほか、情報共有、連携体制の強化を図り、ネットワーク構築の役割を担うというのが、少し硬い表現ではありますが、そういうような組織であるということでもあります。

それから次の質問であります。3号委員につきましては、ここは一応現在3名ということになっておりますが、ここに地域教育コーディネーターを入れるという考え方というのは、2号委員の下から3行目といたしますか、そこに坂井輪中学校区青少年育成協議会ということで、2号委員から3号委員に移動していただいて、地域教育コーディネーターを兼ねるというような形で入っていただく。こういう考え方です。そういたしますと、4名が多くなるというような話になるのかなという感じのご質問ですが、現在尾崎委員という方がおられます。尾崎委員が現在まだ返事が来ていない。要するにこのまま継続したいのかどうかという部分がない中で。それからもう一つは、尾崎委員は防災士の資格もお持ちだという関係もございます。従いまして、尾崎委員がそのまま残れば、いわゆる防災関係者としての立場を引き継いでいただけるものかなということ考えておきまして、もしそれが駄目であれば、いわゆる防災士とか消防団ひまわり隊などの防災関係の部門からどなたか、団体から出ていただくという感じで考えているということで、結果的にはいずれにしても4人という枠の中で調整をしていくという考え方の整理をしております。

よろしいでしょうか。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに何かご質問。村井委員。

(村井委員)

私も今自治会長とか結構やっているものですから、やりながら感じていることを少し述べたいと思います。地域は自治会も特にそうですけれども、やりたくない人が圧倒的で、やはり順番だからやりますという人が多いわけです。だけど地域としては高齢化が進んでいまして、地域に、特に、地域包括ケアになって、最終的にはその方向でやると。ご近所で助け合うという意味がなければ、描いてある餅なのです。そういう意味では私としては、地域活動してるのは、何とか1人でも意思ある人を見つけていきたいなと思っているわけですが、そこがないとなかなか地域は大変だというのは現状です。これは一般論ですけれども、そういうことを大事にしながら地域組織をつくっていききたいなと思っています。

(岩協会長)

ありがとうございました。貴重な意見、ありがとうございました。皆さん方の意見も、当然推薦会議の中で委員の皆さま方が議論をなさって、そして最終的にはこういう規律でいこうと、こういうことになりましたので、一つご理解をお願いいたしたいと思います。

私のほうから推薦会議の皆さまには、今後人選するという大変難しい案件について来期を見据えて検討を重ねていただきたいと思います。それでは提案のあった委員の構成案について、原案のとおり順次委員就任の依頼を進めてよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

(岩協会長)

今、3名の方々の意見等々についても、貴重な意見としても推薦会議では私が聞いているところによると、そういう議論もあったということを知っておりますので、皆さま方の意見は完全に無視したということではないことを、ご理解いただきたいと思います。それでは異議なしということでございます。ありがとうございました。それでは以上で部会を終了いたします。

< 2 議事 (2) 平成 29 年度 自治協議会提案事業について >

(岩協会長)

続きまして、議事 (2) 平成 29 年度自治協提案事業についてでございます。私から説明

いたします。資料2の平成29年度西区自治協議会提案事業(案)をご覧ください。11月、12月の各部会で提案事業について議論し、提出していただいた事業内容でございます。運営会議で全体の調整、確認をさせていただきましたが、結果として各部会から提出いただいた事業全てを来年度実施すべきものとし、提案させていただきたいと思っております。各事業の内容については、これまで各部会でいろいろな議論を重ね、そして報告にありましたので説明は省略いたします。ご覧の6事業は各部長の報告で、もうすでに報告済みでございます。なお、広報紙発行事業は、今年度同様に自治協議会提案事業予算とは別枠に予算が付きましますので、この一覧には含んでおりません。この事業提案の内容については、特色ある区づくり事業の一部であり、必須意見聴取事項となっておりますので、本日はこの案でよいか皆さま方にお諮りし、承認いただければ、市への回答とすることといたします。それでは原案のとおり決定いたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

(岩協会長)

異議なしということでございます。それではそのように新潟市に回答いたします。

<2 議事(3)(仮称)水と土の芸術祭2018実行委員会委員の推薦について(依頼)>

<3 報告事項(1)水と土の芸術祭骨子(案)市民意見募集結果について>

(岩協会長)

それでは議事の3番目として「(仮称)水と土の芸術祭2018実行委員会」委員の推薦について(依頼)でございます。これは報告事項の一番目「水と土の芸術祭骨子(案)市民意見募集結果について」とも関連がありますので、併せて担当課からご説明をお願いします。

(鈴木文化創造推進課室長)

本日は貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございます。文化創造推進課の水と土の文化推進室の鈴木と申します。本日はよろしく願いいたします。本日は9月にこちらの自治協議会のほうにご協力をお願いさせていただきました水と土の芸術祭2018骨子(案)に対します市民意見の募集の結果がまとまりましたので、そのご報告とその結果も踏まえまして、芸術祭を開催すべく、来年1月の下旬に実行委員会を立ち上げたいと考えておりますので、その委員の推薦のお願いに伺わせていただきました。誠に失礼ですが、座って説明させていただきます。

本日の資料につきましては、資料の3と資料の4をお配りさせていただいております。説明の都合上、資料の4のほうからご説明させていただきます。資料4でございます。水と土の芸術祭、2018骨子(案)に対する市民意見の概要についての説明でございます。ま

ず1番目、市民意見の募集結果の概要についてということでまとめてございますが、(1)の募集期間等のうち、③番目、内容でございますが、この度の意見募集につきましては、開催の可否と骨子案に対する気になる点。それから具体的なお意見やご要望の3点に分けて記載していただくような形で募集させていただきました。その結果につきましては④番目、意見者数のおおりに、116人の方からご意見をいただきまして、内訳といたしましては開催に肯定的なお意見が110人、否定的なお意見が6人ということでございました。いただいたご意見につきましては、その下の(2)意見概要というところで整理させていただいております。

①番、開催の可否についてでございます。開催に肯定的なお意見につきましては、114件ございまして、潟など、地域の自然や歴史、文化を発信、再発見するものであり、まちづくりや地域の活性化にもつながるため、継続してほしいといったものですとか、新潟市の豊かな自然や食などの魅力を発信するよい機会であるというご意見もいただいております。一方で開催に否定的なお意見も6件ございまして、税金をほかの用途に使うべきといったような厳しいご意見もいただいております。個々のご意見の説明については省略させていただきますので後で見いただければと思います。

続いて2ページをご覧ください。骨子案の気になる点と、具体的なお意見、ご要望を合わせて216件いただきました。項目別に整理させていただきました。こちらの5ページで記載させていただいております。ご意見が多かったものとしましては、アートプロジェクトに関するものが38件、食、おもてなしに関するものが21件、二次交通に関するものが24件、広報に関するものが34件というものでございました。こちらの個々の説明につきましても省略させていただきますけれども、改善に向けたご意見やご提案が多数寄せられておりましたものですから、満足度の向上、芸術祭を開催するにあたって、満足度の向上の必要性を強く感じてございます。

続きまして6ページをご覧ください。市民意見募集に合わせまして、自治協議会等を回らせていただいておりますので、自治協議会の皆さまからいただいたご意見ですとか、コミュニティ協議会の方にもインタビューさせていただいたりもしましたので、そのご意見などを整理させていただいたものでございます。こちらにも個々の説明は省略させていただきますけれども、相対的に見まして、文化事業に対する大局的なご意見に加えまして、地域の活性化ですとか、コミュニティづくりなど、芸術祭が地域にもたらす効果に期待する旨のご意見が多かったと感じてございます。この度の募集の結果が、市民全体のご意見というわけではないと、こちらは重々承知しておりますけれども、いただきましたご意見は大変貴重なものと考えております。また過去に頂戴しております各種アンケートの結果ですとか、ディレクター会議のご意見、それから市民サポーターズ会議というようなところの提言なども踏まえまして、次回第4回目の開催に向けた準備を始められるように、この12月の新潟市議会に補正予算を提案させていただいております。補正予算が可決されましたら、実行委員会を早急に立ち上げまして、いただいたご意見を十分に検討し、より魅



力的な芸術祭になるよう、基本計画の作成に入っていきたいと考えてございます。

続きまして、資料の3をご覧くださいませでしょうか。資料3「(仮称)水と土の芸術祭2018 実行委員会」委員の推薦について(依頼)というものでございます。今ほどご説明いたしましたとおり、現在新潟市議会で水と土の芸術祭の準備経費につきまして、補正予算を審議していただいております。補正予算が可決されましたら、予算措置された場合でございますが、速やかに実行委員会を立ち上げたいと考えておりますので、この実行委員会の委員の推薦につきまして、西区の自治協議会から1名お願いできればと考えております。この委員の役割でございますけれども、1枚資料をはぐっていただければと思います。1枚はぐっていただいた資料のところに、<(仮称)水と土の芸術祭2018 実行委員会 委員推薦について>というものになっております。一番目としまして、市民が主役の芸術祭となりますよう、区民の一員として、ご意見ですとかご提案をいただきたいと考えております。また実行委員会での話、それから芸術祭の情報を適宜区の自治協議会等にご報告していただければと考えているところでございます。2番目、任期につきましては、自治協議会委員の職にある期間ということでお願いさせていただきたいと思っております。3番目につきましては、まだ確定しているものではございませんが、実行委員会の構成について、このような形で考えているというものでございまして、今後確定させてまいります。4番目につきまして、会議の開催予定でございますが、平成29年1月の下旬に設立総会を予定してございます。その後は各年、平成29年度で1回から2回ぐらい、平成30年度も1回から2回程度の総会の開催を予定しております。5番目、ご推薦にあたりましては、誠に恐縮ですが、1月6日までをお願いできればと考えております。走り走りで申し訳ございません。

それからもう一つ、今日お配りさせていただいたパンフレットについて、若干ご紹介させていただきます。水と土の芸術祭とは若干異なるのですけれども、当課が後援している催し物のご紹介になります。本日配付させていただいております白黒のパンフレットで、左のところに古町通りと書いているものでございます。こちらの催しにつきましては、県内の芸術関係者などで構成される新潟アートサーカスというところが実行委員会を組んで主催をしております。再開発事業を控えました旧大和デパートの会場を使ってイベントを行っております。裏面に開催の概要みたいなものを書いてございますが、一番最後のページですが、12月25日までの間で開催しております。入場料は大人200円、高校生以下が無料となっております。会場で大和デパートのシンボルでございましたダンシングラビットを展示しているほか、アート作品の展示、昭和レトロな品々を展示させていただいているというものでございますので、皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場いただければと思っております。私からの説明は以上になります。話が前後するようで申し訳ございませんが、自治協の皆さまからの委員の推薦につきましてご協力をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの担当課からの説明でございます。ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。

(坂井委員)

古町のこれを行っている事務局長は、山本さんといううちの自治会の方ですので、ぜひ機会があったら行ってあげてください。以上です。

(岩協会長)

ということでございます。それでは今の説明にもありましたが、実行委員会委員の推薦についてです。運営会議でもご相談させていただきましたが、円滑に議事に参画していただけるよう、これまでの経緯を理解されている大谷一男委員を推薦したいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは大谷一男委員ということでよろしくお願いいたします。

(岩協会長)

なお、任期は3月末までです。次は、分かりません。またその時点でということです。私ども全員が任期は3月末で切れます。継続するかしないかは、各団体に決めることでございますので、その辺は一つご了解していただきたいと思います。ありがとうございました。

< 4 その他 >

(岩協会長)

次第の最後、その他でございます。

まず私から、西区自治協議会研修会についてでございます。地域包括ケアシステムに関する研修会といたしまして、新年度の1月27日金曜日本会議開催前、13時15分より実施したいと思っております。具体的なテーマにつきましては、事前アンケートに基づきまして、本庁の地域包括ケア推進課などと調整させていただきます。いよいよ来年度から新しい総合事業として新潟市のほうに移行されます。皆さま方からさらなるご理解をいただくために、自治協の委員の皆さま方、都合を付けてご出席いただきたいと思っております。後でまた問題が提議されて再度同じような説明を繰り返されてもうまくないと私は思っております。

す。よろしくお願いいたします。次に私からのお願いでございます。坂井委員より各委員宛てに小規模企業白書などの分析資料の提供がありました。産業を所管する第3部会では、配付いたしまして、参考にさせていただきました。本会でも参考にさせていただきたいという背景がありましたので一読願えればと思っております。これは自治協の皆さま方、配付資料としてではございません。坂井委員が皆さま方に活性化のために読んでいただきたいという趣旨で、皆さま方のテーブルのところにおいてあります。ということで、よろしくお願いいたしますと思います。私からは以上でございます。ほかに委員の皆さま方、ご意見等がございませんでしょうか。それではほかに事務局、何かございますか。

(事務局：堀企画係長)

それでは連絡事項でございます。次回会議の開催日についてご連絡でございます。お手元の28年度西区自治協議会開催予定A4資料をご覧ください。次回第10回の会議は1月27日、金曜日、午後3時から。会場はこちら健康センター棟、本日と同じ会場でございます。会議の議題、詳細等につきましては、先ほど会長からご説明のありました委員研修会の件と併せまして、改めて皆さま方へご案内させていただきます。なお、A4資料におきまして、次の2月のご日程でございますが、こちら市県民税申告の会場都合や、その他会議の都合から、当初ご案内のものから日程の変更を見込んでおります。2月27日月曜日、こちらの方を、ご都合のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

続きましてご案内でございます。お配りいたしましたチラシ「うちの発掘ぶろじゅくと」。こちらにつきましては第3部会でご説明ございました。さらに内容を詳しくお聞きになりたいという方がございましたら、ぜひ会場に足をお運びください。

続きまして最後に西区役所ミニコンサートのお知らせです。1月20日、金曜日、12時20分からこちらの会場で、新春にふさわしく「箏・尺八ユニット 薫風之音」による演奏をお届けいたします。多くの方から足をお運びいただければと思います。これ以降は各種広報紙でございますので、後ほどご覧ください。それでは最後に区長より年の瀬に際しまして、一言皆さまにごあいさつ申し上げます。

— 区長あいさつ —

(岩協会長)

私からもお礼でございます。今年1年、議事進行につきましては、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。よいお年をお迎えくださるよう祈っております。それではこれで平成28年度第9回西区自治協議会を閉会いたします。ありがとうございました。